

# 心肺蘇生法を学習して

射水市立射北中学校 2 学年

6月13日に、射水市医師会の医師や看護師、新湊消防署の救急救命士や女性消防団員の方々を講師に迎え心肺蘇生法実技講習会を行いました。命の大切さや救急車が来るまでの応急手当の手順を実習人形やAEDトレーナーを使って学びました。

心肺蘇生法を学ぶということは、自分も社会に貢献することにつながると感じました。なぜなら、自分のもっている知識や技術で、一人の人間を助けることができるかもしれないからです。また、今日の講習を終えて、人と人で力を合わせる大切さを学びました。世界のほとんどの人が、AEDを使用できるようになって、手と手を取りあい、明るい世の中になったら、よいと思います。(女子)



最初に心肺蘇生法の大切さを聞いて、もし、倒れている人がいたら助けたいという気持ちが強くなりました。心肺蘇生法を、するのとならないのでは、全く違うということが分かりました。心肺蘇生法を実際に行ってみると、思っていたよりも難しくて、とても疲れました。心臓マッサージをするときも、人工呼吸をするときも、AEDを使用するときも注意しなくてはいけないところがたくさんあって、とても大変だったけど、しっかり覚えることができました。倒れている人に会うことはあまりないと思うけど、もしあったときには進んで助けられるようになったので、進んで助けて、命を落とす人を少しでも減らしていけたらいいと思いました。(男子)



一人ではなく、協力して心肺蘇生法をして、119番やAEDを使う方法が分かりました。実際やってみると、思ったより力が必要だと分かりました。また、AEDが来たときも、ほんの数秒だけしか止めずに済むような心肺蘇生法の方法が分かりました。もし、心肺が停止している人が居たら、進んで蘇生をしたいと思いました。また、AEDの場所を意識してどんな時にも対応できるようにしたいです。(男子)



私は、初めて「AED」を使いました。AEDは難しくて大変なものだと思っていましたが、意外と誰にでも分かりやすく、簡単なものだなと思いました。いつか誰かが倒れてしまった時には、もの凄い勇気があると思うけど、今回の心肺蘇生法の教室で学んだことを、自分に自信をもって、人のために行動したいと思います。「周囲の安全確認」や「大きな声で言う」という大切なことも忘れずに行えたらいいなと思います。そして、日常生活でも人のために行動していきたいです。(女子)





今日は、この講習を通して、少しの時間でも心肺蘇生法やAEDのおかげで、その人の人生を救うことができるということを学びました。また、人形を使った体験では、「上手だね」と言われて少し嬉しかったです。これからの人生で、人が倒れている場面があったら、ここで習ったことを生かして、人の役に立ちたいです。また、「私じゃなくても・・・。」という気持ちを少しでも無くして、積極的に助けたいです。(女子)



今日の心肺蘇生法の講習を終えて、胸骨圧迫とAEDの使い方を学ぶことができました。救急車がくるまでの7分半の間、自分達がどんな処置をするかで、倒れている人の生死が分かれてしまうので、誰かがやってくれるとかではなく、自分から積極的に行動することが大切だということが分かりました。もし、周りで人が倒れたときのために、今日学んだ心肺蘇生法をしっかりと覚えておきたいです。(女子)

私は、小学6年生のときに、個別に救急の講座を受けたときがあり、そのときに習った救命の流れを改めて確認・復習をする、思い出すという形で講習を受けました。今回の講習では、私達に人が倒れていたらできることは、救急車を呼ぶだけではないと気付かされました。私の力だけでもできることを、これからもどんどん増やしていきたいです。また、今回の講習では、「人が倒れる」といっても様々な場合があると思うので、様々な場合を想定しながら他の人の実習を見ることができました。この講習を通して、人を助けることにもっと、興味が湧いてきました。自分でも人を助ける事が、わずかかもしれないけれど、できる気がしました。(女子)



私は今日の授業で、心肺蘇生法はこれからの生活で、とても役に立ってくると思いました。初めてAEDの使い方を先生に詳しく教えていただき、初めてAEDを使って人を助けるという講習を受けました。また、この授業で学んだことが2つあります。一つ目は、「人の役に立つ」ことです。一人でも多くの命を助けるために、救急車が来る前に、心肺蘇生法をしなければいけないのだと分かりました。二つ目は、「すばやく行動する」ことです。生と死に関わるので、これからも真剣に行っていきたいです。(女子)